



一人ひとりのよさを輝かせる学校に！「校内人権週間」

今日、6/6（月）から「校内人権週間」です。自分や友達のよいところに気づき、一人ひとりを大切にして、お互いを認め合い、助け合って、楽しい学級・学校をつくろうとする心情を育てます。

具体的には、運営委員会を中心に、全校で「お互いによさを見つけ合う」活動を展開していきます。子どもたちは、自分で気付いているよさよりも、気付いていないよさの方がたくさんあると思います。そこで、子ども同士みんなで誰かのよさを見つければ、きっと別の誰かが、また別の誰かのよさを見つけて、それがどんどんと広がっていくと思います。そして、それが、家庭にも、地域にも広がっていけば、学校と家庭と地域が一体となって、一人ひとりの子どものよいところを見つけ、「あなたには、こんなよいところがありますね。」と伝えあうことができます。

実は、先日も地域の方から「公園のそうじをしていたら、葦高小学校の高学年の子どもに『私たちの公園をそうじしてくれてありがとうございます。』と言われ、とてもうれしくなりました。名前は分からなかったのですが、ぜひ、ほめてあげてください。」と心温まるお言葉をいただきました。

そこで、運営委員会が「友だちのよさ」を「見える化」する手立てとして「グッドカード」を発行して、子ども同士がお互いに交換できるようにします。

子どもたちは、今でも「明るいあいさつ」、「元気な外遊び」、「前向きな係活動や委員会活動」、学校のための「奉仕活動」、「友だちへの優しい行動」など、よい行動がたくさんあります。そういったよい行動が、この「人権週間」のさまざまな取組で、より一層盛んになり、「笑顔」と「喜び」にあふれる葦高小学校になっていくことを心から願っています。

校長 藤井 朗



人権週間テーマ 「学校中、いつでも明るい笑い声
～ 自分っていいな 友だちっていいな ～」

グッドカードのデザインも子どもたちのアイデアを生かして、今後、変えていく予定です。



あいさつ運動

奉仕活動(玄関そうじ)



元気いっぱい鉄棒遊び

グッドカード

ありがとうございます

年 組

さん

より



年 組

グッドカード

こんなすてきなことができました

さん

年 組

より

